

セーフティ プロモーション スクール 認証申請書

Safety Promotion School Designation application



石巻市立桃生小学校

Monou Elementary School

目次

学校概要	1
セーフティプロモーションスクール7つの指標	4
指標1	5
指標2	6
指標3	7
指標4	8
指標5	10
指標6	12
指標7	14
避難訓練実施計画	
地震（含 引渡し）避難訓練	15
洪水避難訓練	22
原子力災害（含 地震）避難訓練	27
火災避難訓練	29
写真資料	33
学級通信等連携資料	36

1 宮城県石巻市立桃生小学校・学区の概要

〒986-0304 宮城県石巻市桃生町榎崎字高附5番地 電話 0225(76)2242 FAX 0225(76)2432

e-mail elsmonocl@city.ishinomaki.lg.jp

URL <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20303600/index.html>

(1) 学区の実態

当学区は、旧桃生町の北東部旧桃生村全域で、本校はその中央部に位置する。北部に永井分校、南部に太田分校があったが、本校舎新築落成（昭和58年3月）を機に両分校百十余年の歴史に終止符をうち閉校した。地域の産業の中心は米作で、ほかに畜産、ハウス栽培（こねぎ・ガーベラ）等多角経営が進められている。一方、地区内外の工場で働く保護者も多く見られる。教育に対する関心が高く、PTA・地域ぐるみ青少年健全育成協議会・スポーツ少年団・子ども会育成会等の活動も活発である。また学校の教育活動にも協力的である。

平成23年3月の東日本大震災においても、地盤の固さ等立地条件に恵まれており、桃生地区においても最も被害が少ない地区であった。三陸自動車道の区間延長や道路拡張に伴い利便性が増したことにより、交通量の増大による交通事故の防止や不審者の広域移動からの安全確保が必要である。

(2) 児童の実態

明るく素直で、礼儀正しく言われたことには従順である。しかし、思考を伴う活動においては自主性、積極性にやや欠け、自分の考えを言葉や態度で表現することが苦手である。家庭学習や読書の習慣が以前と比較して定着してきているが、学習の基礎・基本の定着に十分に結び付いていない。

分校があった昭和58年度当時の太田・永井両分校の学区全域と旧本校学区の永井・榎崎の一部に居住する児童には、申請により1～3年生はスクールバスで、4～6年生は自転車での通学を許可している。

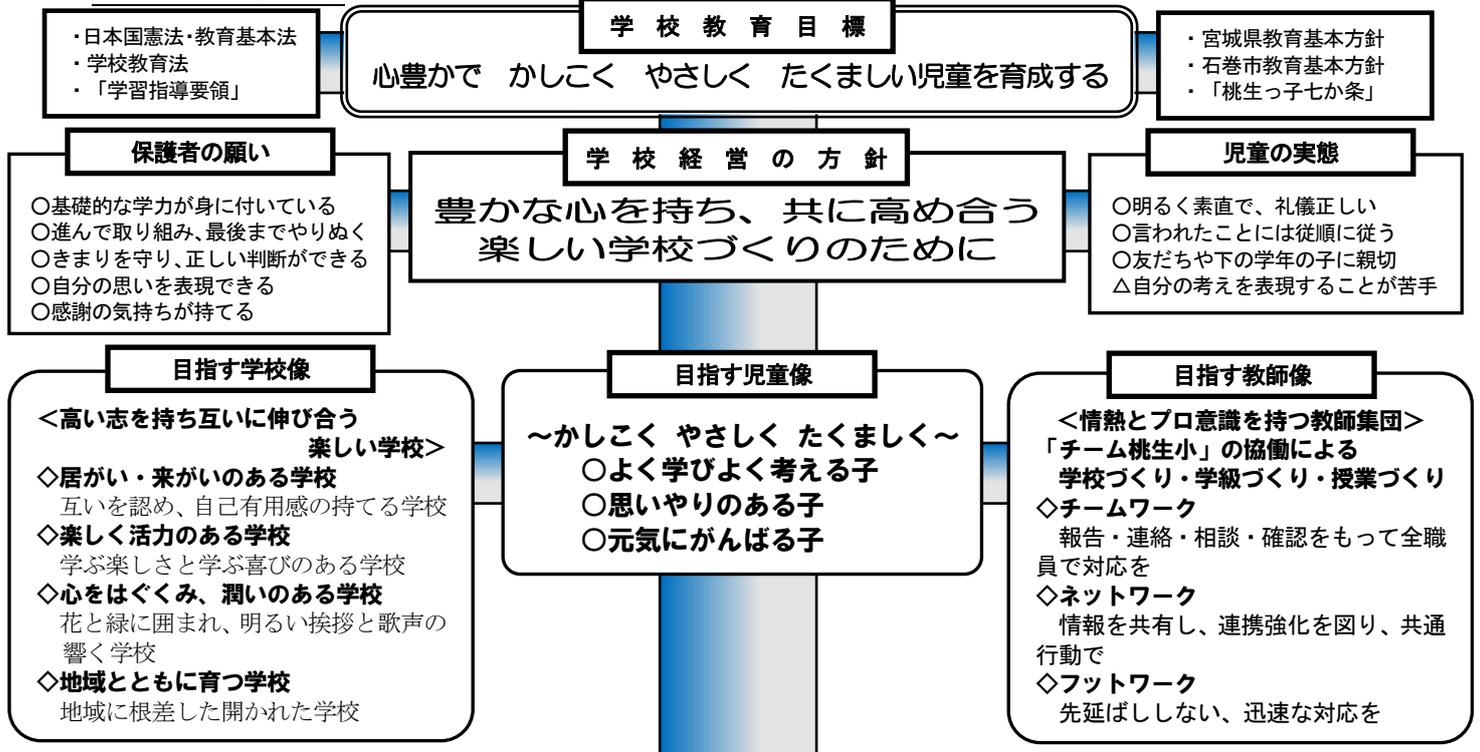
2 学校沿革の概要（学校安全関係）

明治 6	永井浄音寺を仮校舎として創設 永井小学校と称す	平成 12	第40回交通安全全国大会で「交通安全優良校」として全国表彰される
	太田吉祥寺を仮校舎として創設 太田小学校と称す	13	学校評議員制度導入
	桃生榎崎、榊田員枝氏宅を仮校舎として創設 榎崎小学校と称す	14	連続地震の被害による改修工事
41	永井、太田の尋常小学校を廃し、桃生尋常高等小学校の分教場となる	15	市町合併により、石巻市立桃生小学校と改称
昭和 30	町村合併により、桃生町立桃生小学校と改称	17	全国地域安全運動広報啓蒙活動により、河北警察署より表彰
43	プール完成（本校）	20	石巻市コラボスクール推進委託事業モデル校
51	屋内体育館落成（本校）	23	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により校舎に被害を受ける
58	新校舎落成（太田分校 閉校式23日、永井分校 閉校式25日）		体育館に避難所が開設される（3/14～9/26）
62	県知事より交通安全優良校として表彰される		避難所開設に伴う災害対策用電話設備設置（体育館）
平成 元	PTA活動優良校として県大会で表彰される	24	桃生小学校区地域防災連絡会を設立する
5	県警察本部長・県交通安全協会長より交通功労団体として表彰される		宮城県教育委員会「幼・保・小連携推進事業」指定校
6	交通安全子供自転車宮城県大会優勝（全国大会出場 8/2 千葉県）	25	防災倉庫設置、新プール完成
7	交通安全子供自転車宮城県大会団体の部優勝	26	太陽光パネル設置完了
8	交通安全子供自転車宮城県大会団体の部優勝	30	校庭遊具を改修
10	交通安全子供自転車宮城県大会団体の部2位		河北警察署より警察活動への協力を認められ感謝状を受ける
	体育館完成（改修工事7～11月）	令和 2	エアコン設置（普通教室・校長室・職員室・保健室）
11	東北管区警察局長・東北交通安全協会から「交通安全優良学校」として表彰される		第4回市復興・防災マップコンクール 市長賞（第一席）受賞
			全担任・全児童にタブレット端末の配布（市内全校）
		3	第18回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール（全国）佳作
		4	SPS 認証申請

3 校地校舎の面積

校地面積	校舎面積	校庭面積	体育館面積	プール	倉庫・他
18,150㎡	3,402㎡	6,506㎡	668㎡	25m×15m	133㎡

4 本校の経営概要



今年度の努力事項 (下線太字は、今年度の重点努力事項)

確かな学力を育む学習指導 ◎ <u>協同学習を通した基礎・基本の確実な定着と応用力の育成</u> ◎ <u>体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れた学習の充実</u> ◎「 <u>学習のやくそく</u> 」「 <u>家庭学習のすすめ</u> 」等による学習規律と学習習慣の定着 ◎ <u>インクルーシブ教育の推進</u> ◎ <u>読書タイムや読み聞かせ等読書指導の推進を通した読み取る力の育成</u> ◎ <u>ICT環境の整備や情報機器を活用した情報教育の充実と情報活用能力の向上</u> ○表現力や言語力を高めるための集会活動の充実 ○指導方法や指導体制の工夫改善 ○指導と評価の一体化によるカリキュラム・マネジメントの推進	正しい礼儀と生活規律、豊かな情操の形成 ◎ <u>道徳性を養うための「考え、議論する道徳」の時間の充実</u> ◎ <u>心に響く体験活動を通した道徳的実践力の育成</u> ◎ <u>児童理解の推進と個性や自己指導力の伸長</u> ◎ <u>異学年交流の推進と集団参画意識の育成</u> ◎ <u>礼儀や言葉遣いを中心とした規範意識を高める指導の徹底</u> ○いじめ・不登校の根絶を期した指導体制と教育相談体制の確立 ○家庭や地域、校種間連携の強化	常に努力する精神的・身体的な強さの育成 ◎ <u>外遊びや集団遊びの奨励と遊びの機会・場づくり</u> ◎ <u>健康相談や歯科、栄養指導等の保健指導の充実</u> ◎「 <u>はやね・はやおき・あさごはん</u> 」での基本的生活習慣の育成 ○体力の実態把握と指導内容の工夫改善や個に応じた指導の充実 ○学校給食や栽培活動、料理教室等を通した食に関する指導
東日本大震災の教訓を生かした学校防災(防災教育・防災管理)の充実 ◎ <u>家庭や地域と連携した防犯・防災体制の充実</u> ◎「 <u>危機管理マニュアル</u> 」の見直しと体制の確認 ◎ <u>防災教育カリキュラムに基づく計画的な指導の充実</u> ◎ <u>計画的な安全点検の実施と災害時を想定した防災管理の徹底</u> ◎ <u>セーフティプロモーションスクールとして目指す「安全な学校」</u>	地域に開かれ信頼される学校づくりの推進 ◎ <u>教育目標や教育内容の情報発信の徹底</u> ◎ <u>豊かな桃生地域の教育資源の開発と特色ある教育活動の推進</u> ◎ <u>感染症に対応した教育活動の推進</u> ○学校評価を生かした教育計画の改善	特色ある教育活動と豊かな学校環境づくりの推進 ◎ <u>総合的な学習の時間を中心とした、ふるさと桃生への愛情を育む教育活動の展開</u> ◎ <u>職員の共通理解を図る特別支援教育の充実</u> ◎ <u>事務の共同実施等を通した学校の組織運営体制の在り方の見直し、教員が担う業務の明確化・適正化</u> ◎ <u>はねこ踊りの継承と発展に努め、郷土を愛する心情の育成</u> ○音楽集会等の音楽活動の充実、歌声の響く学校づくり ○ピカピカタイムを通した、児童自ら学ぶ環境づくり ○スクラップアンドビルドによる新しい時代に向けた教育課程の展開

5 学級編制 [Student Roll]

性別 / 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
男	5	5	7	6	8	3	2	36
女	4	3	7	5	11	6	3	39
合計	9	8	14	11	19	9	5	75

6 職員一覧 [Staff List]

職名	氏名	本校勤務	主な校務分掌
校長	今藤 良弘	0.0	学校 CIO
教頭	佐藤 恭子	2.0	学校管理
教諭	山口 正富	2.0	教務主任・初任者研修
教諭		3.0	1年担任・図書館
講師		0.0	2年担任・掲示
教諭	上原 舞花	2.0	3年担任・生活安全・情報
教諭		0.0	4年担任・学芸の行事
教諭	芳賀 辰徳	1.0	5年担任・体育・生活安全
教諭	佐々木和洋	1.0	6年担任・防災主任
教諭		4.0	なかよし1組担任・校内研究
教諭		3.0	なかよし2組担任・特支CO
教諭		0.0	外国語専科
教諭		4.0	2年担任
養護教諭	石森 福子	3.0	保健教育・給食主任
主幹兼事務長		1.0	事務・経理全般
用務員		10.0	営繕管理全般
支援員		8.0	特別支援教育支援員
支援員		0.0	特別支援教育支援員
SSS		1.5	衛生管理等教員支援
学校司書		1.0	図書館運営支援
外国語指導補助員		0.0	外国語指導補助
非常勤講師		5.0	スクールカウンセラー
ALT		7.0	外国語指導
校医(内科)			
校医(耳鼻科)			
校医(眼科)			
校医(歯科)			
薬剤師			

7 年間授業日数・主な行事予定

[School Events]

学期	月	授業日数	行事予定
1	4	15	始業式・入学式 交通安全教室 学習参観 1年生を迎える会 全国学力・学習状況調査(6年)
	5	19	開校記念日 運動会
	6	22	避難訓練・引渡訓練(地震) 新体力テスト
	7	13	避難訓練(休憩時) 防犯教室 宿泊学習(5年・奥松島) 学習参観 終業式 3小交流会 個人面談
2	8	4	始業式
	9	20	避難訓練(洪水) 祖父母参観 交通安全教室 修学旅行(6年・福島県)
	10	20	学芸会 徒歩遠足(1~4年)
	11	19	校内持久走記録会 避難訓練(原子力災害)
	12	17	学習参観 終業式
3	1	16	保幼小交流会 校種間交流
	2	19	一日入学 学習参観
	3	17	6年生を送る会 卒業式 修了式



8 週時程表 [Time Table]

	月	火	水	木	金
8:15	児童登校				
8:15 8:30	業前 学年の時間 読書タイム	朝会 縦割活動 音楽・ 児童集会	スキル タイム (算数)	読書タイム 防災学習 行事関連	スキル タイム (国語)
8:30 8:45	朝の会(15分)				
8:45 9:30	1				
準備の時間(5分)					
9:35 10:20	2				
休憩(20分)					
10:40 11:25	3				
準備の時間(5分)					
11:30 12:15	4				
12:15 13:00	給食指導・歯みがき(45分)				
13:00 13:20	清掃(20分)				
13:20 13:40	昼休み(20分)				
13:40 13:45	読書タイム(5分)				
13:45 14:30	5				
委員会活動・代表委員会 15:20終了 クラブ活動 15:40終了					
準備の時間 5校時限の学年:帰りの会(5分)					
14:35 15:20	6		14:40 開始		
15:20 15:30	帰りの会(10分)				
放課後予定	校内研究	職員会議	教材研究	打合せ	諸会議

セーフティ プロモーション スクール (SPS) の7つの指標

指標 1 (組織)	学校内に、学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全コーディネーター」等を設置し、その「学校安全コーディネーター」を中心とする学校安全推進のための委員会（以下「学校安全委員会」）が設置されている。なお、学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」のほか、校長、教頭等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒の代表、PTA代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールガードリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成させることが望ましい。
指標 2 (方略)	学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域（「3領域」と表記）の学校安全推進のための「中期目標・中期計画（3年間程度）」が設定されている。
指標 3 (計画)	学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が策定されている。
指標 4 (実践)	策定された「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
指標 5 (評価)	学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。
指標 6 (改善)	学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
指標 7 (共有)	学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。

指標 1 : 学校安全委員会

宮城県石巻市立桃生小学校

		役職
委員長	学校安全コーディネーター	・ 防災主任
委員	教職員代表	・ 学校長 ・ 教頭 ・ 教務主任 ・ 生徒指導主任 ・ 交通安全担当 ・ 養護教諭
委員	児童代表	・ 環境委員会 6年生2名 5年生3名
委員	P T A代表	・ P T A会長 ・ P T A地区委員長
委員	警察関係者	・ 河北警察署檜崎駐在所長
委員	消防関係者	・ 河北消防署桃生出張所長
委員	子ども会育成会関係者	・ 石巻市子ども会育成会桃生支部会長 (SPS アドバイザー兼任)
委員	防犯協会関係者	・ 石巻市防犯協会連合会桃生支部檜崎分会長 (SPS アドバイザー兼任)
委員	民生委員・児童委員代表	・ 石巻市桃生地区民生委員・児童委員少年補導 担当 (SPS アドバイザー兼任)
委員	交通指導隊関係者	・ 石巻市交通安全指導隊桃生副分隊長 (SPS アドバイザー兼任)
委員	交通安全協会関係者	・ 河北地区交通安全協会桃生第二支部長 (SPS アドバイザー兼任)

指標 2 : セーフティプロモーションスクール活動の中期目標・中期計画

宮城県石巻市立桃生小学校

分 野	中期目標・中期計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防 【生徒指導主任】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内での危険や危険箇所を理解し、危険予測能力を高められるよう努める。 → 施設の不備による怪我を0にする。 ・家庭・地域・社会で起こる犯罪や危険に巻き込まれないような指導改善を行う。 ・専門的な知識を有した外部との連携により行う防犯訓練を充実させる。 → 事件に巻き込まれる件数を0に抑える。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防 【防災主任】	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての命を守るための安全な避難を実現する校内体制を確立する。 ・災害発生時に、教職員、児童が自分の役割を考え、貢献できるような体制を構築する。 ・地域と連携した防災訓練を実施する。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防 【交通安全担当】	<ul style="list-style-type: none"> ・河北警察署、桃生地区交通指導隊の協力を得た交通安全教育を一層推進する。 ・歩行者、自転車利用者としての交通マナーを守る必要性の自覚を促すとともに、マナー向上を目指した取組を行う。 → 交通事故発生件数を0に抑える。

指標3：セーフティプロモーションスクール活動の年間計画（令和4年度）

宮城県石巻市立桃生小学校

分野	領域	年間計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防 【生徒指導主任】	安全教育	○危険に巻き込まれないための取組に主体的に取り組もうとする態度を育成する。 ○安全に関わる特別活動を通して、危険予測能力を高める。 ○不審者に対する適切な対処についての意識を高める。
	安全管理	○「石巻市立学校の管理に関する規則」第30条に基づき、校舎内外の危険箇所を減らすよう取り組む。 ○定期的な校内巡視により、危険な行動を回避する。 ○日常的にメールを活用し、迅速な連絡体制を構築しておく。
	安全連携	○教職員による情報共有を適切に行う。 ○河北警察署と連携した不審者対応訓練や河北消防署桃生出張所との連携による心肺蘇生法研修を通して、救命救急スキルを高める。 ○学区パトロールを実施し、地域の安全を保持する。 ○学校安全委員会で、取組に対する外部からの評価を受ける。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防 【防災主任】	安全教育	○地震・火災・水難・原子力対応の避難訓練を計画的に実施し、児童の防災に関する技能を高める。 ○朝の時間と学級活動を組み合わせた効果的な教育課程を編成する。 ○縦割り活動を生かし、高学年児童を安全な行動のモデルとする。
	安全管理	○校内災害本部・防火管理本部編成に基づき、教職員がそれぞれの役割を果たす。 ○校内にとどまらなくてはならない状況を想定し、食料を備蓄する。 ○日常的にメールを活用し、迅速な連絡体制を構築しておく。
	安全連携	○心肺蘇生法研修を通して、救命救急スキルを高める。 ○学校安全委員会で、外部評価を受ける。 ○河北消防署桃生出張所との連携による避難訓練を実施する。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防 【交通安全担当】	安全教育	○交通事故を未然に防ごうとする態度を育成する。 ○歩行や自転車に乗車の際、並進をしない等のマナー面の指導も強化する。
	安全管理	○通学路の状況について巡視を行い、安全を確保する。
	安全連携	○地域の協力を得て、登下校時の安全確保に努める。 ○河北警察署や地域の自動車学校と連携した交通安全教室の充実を図る。

指標4：セーフティプロモーションスクール活動の実践（令和4年度）

宮城県石巻市立桃生小学校

分野	領域	活動・実践の内容
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防 【生徒指導主任】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会等、身の回りで起きた事件・事故に関心を払う機会を設けた。 ・保健の学習を生かし、児童自身でできる傷口の洗浄等を済ませて保健室に来室する習慣付けを図った。【通年】 ・夏季休業前に、不審者が侵入した想定で退避訓練等の実践的な訓練と講話による指導を実施した。【R4. 7. 7】 ・訓練の事前事後の指導において、視覚的な資料を用いて具体的に指導を行った。【R4. 7. 7】
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・月1度の安全点検の際は、学年部組織で漏れなく点検した。【毎月初め】 ・安全点検に児童の視点を取り入れた。【月初めの朝の会】 ・校内巡視を行い、危険な行動が見られた際は直ちに担任と共有した。【通年】 ・施設設備の緊急な改修が必要な場合は、市教委と連携し、迅速に措置を行った。【通年】
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の打合せで、生活指導上の課題と成果を共有した。【通年】 ・河北警察署と連携し、より具体的な状況を想定した実地訓練を行った。【R4. 9. 21】 ・児童や保護者に生活安全教育に関わるアンケート調査を行い、学校安全委員会の評価を受ける。（学校評価と関連させる。）【R5. 2月予定】
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防 【防災主任】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・風水害・火災・原子力災害と、想定できる限り具体的な状況下で避難訓練を実施する。 【地震（含 引渡し訓練）R4. 6. 3、風水害 R4. 9. 28、原子力（含 地震）災害 R4. 10. 31、火災 R4. 11. 11】 ・朝の業前活動として、市防災副読本「未来へつなぐ」、県防災副読本「未来への絆」を用いた「防災学習の日」を設定した。【年間8回】 ・集団的な実践的な学びの場としての「学級活動」の特長を生かし、発達段階に応じた指導を行った。【訓練日の業前】 ・夏季休業前に、休憩時地震対策訓練、着衣水泳体験を実施した。【休憩時訓練 R4. 6. 30、着衣泳体験 R4. 7. 19】 ・縦割り活動の移動の際、避難行動を意識した集団行動についても指導した。【業前活動の縦割り活動】
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・二次避難先の変更や休憩時の避難訓練を含めた具体的な想定での実地訓練を通して、校内災害本部・防火管理本部の体制を見直した。【R4. 9. 28】 ・年度当初、新1年生と新4年生、転入職員の食料を新たに備蓄した。【R4. 4月】 ・年度末、3年生と6年生、転出職員に備蓄食料を配付する。【R5. 3月予定】 ・警報が発出され、授業の打ち切りや自家用車での送迎を必要とする場合は、メールで迅速に周知した。

		<p>【R4. 6. 3 引渡し訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河北消防署桃生出張所と連携し、火災や心肺停止等の具体的な状況を想定した訓練を行った。【心肺蘇生法講習会 R4. 6. 10、火災避難訓練 R4. 11. 11】 ・児童や保護者に災害安全教育に関わるアンケート調査を行い、学校安全委員会の評価を受ける。(学校評価と関連させる。)【R5. 2 月予定】
<p>交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害予防 ・加害予防 <p>【交通安全担当】</p>	<p>安全教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河北警察署、桃生地区交通指導隊との連携において歩行指導、自転車乗車指導を実施した。【R4. 9. 21】 ・朝会等の全校が集まる場を利用し、登下校の際、並進をしない等のマナーについても適宜確認した。【通年（朝会、終業式、交通安全教室、学校区パトロール）】
	<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校区パトロールの際、通学路の状況についても確認し、教職員で共有した。【年 4 回】
	<p>安全連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の状況を随時教職員と児童で共有したり、必要に応じて保護者や市長部局と共有したりして、状況を改善した。【通年】 ・メールのアプリを活用し、通学路上の危険を随時教職員と保護者と共有し、状況改善に生かす取組を立ち上げた。【R4. 5 月】 ・交通安全運動と関連し、地域と連携した交通安全教室を実施した。【R4. 9. 21】 ・児童や保護者に交通安全教育に関わるアンケート調査を行い、学校安全委員会の評価を受ける。(学校評価と関連させる。)【R5. 2 月予定】

指標5：セーフティプロモーションスクール活動の評価（令和4年度）

宮城県石巻市立桃生小学校

分野	領域	評価方法
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防 【生徒指導主任】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な遊び方に気を付けて遊んでいるか、休み時間の様子を観察したり、帰りの会でクラスの様子聞き取りをしたりした。 ・保健の学習の中で、傷口の洗浄等を行ってから保健室を利用するように指導した。 ・不審者対応の訓練では、廊下や階段だけでなく、ベランダや非常階段なども活用し、より状況を具体的に想定した訓練とした。 ・訓練の事前指導を生かして訓練に参加できていたか、事後指導の場面で、児童に聞き取りをした。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を定期的に行っていたか、安全点検簿で確認し、修繕等の対応についても記録した。 ・朝の会等で、児童の視点から見て危険個所がないか聞き取りを継続して行った。 ・休み時間・授業中を問わず、担任以外の職員が校内及び校庭周辺の巡視を行った。 ・緊急の改修が必要な場合には、事務及び教頭に直ちに報告し、市教委に修繕を依頼し、対応してもらった。 ・不審者情報を精査し、家庭への連絡が必要なものについては、保護者にメールで周知した。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導上の情報は、教職員間で共通理解を図り、対応するとともに、事後の様子についても確実に報告した。 ・コロナ禍の状況もあり、河北警察署と連携しての不審者対応訓練ではなく、校内体制での訓練を実施した。 ・同様に、「学校区パトロール」では、地域への協力を呼び掛けなかった。朝の挨拶運動では、PTA行事として保護者の協力を得て実施できている。 ・保護者アンケートを実施中である。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防 【防災主任】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各種災害対応避難訓練を実施した。始業前、清掃中、授業中等、発生想定時間帯を工夫し、担任不在の場合も避難行動をとれるように、事前指導から自助の気持ちを持ってできるようにした。 ・防災の時間は、避難訓練の事前指導等に充てられるように計画し、実施できた。 ・集団的な実践的な学びの場としての「学級活動」の特長を生かし、発達段階に応じた指導を行った。 ・学級活動の計画に災害安全について指導する時間を設定し、計画的に実施した。 ・夏季休業前に、学年部毎に、発達段階に応じた着衣水泳体験を実施できた。 ・運動会・体力テスト等も縦割り班を活用して実施し、縦のつながりをより密接に図れるようにし、災害時にも

		適応できるように指導した。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水想定避難訓練の実施を振り返り、本部の設置場所の見直しを行った。 ・災害時の飲料水及び非常食の購入ができた。 ・昨年度末に6年生と3年生、転出職員に非常食の持ち帰りを確実にを行った。 ・台風接近に伴う情報共有について、保護者へ早急にメールで連絡した。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署、消防署等に必要に応じて職員の派遣を依頼し、訓練等で講評・助言を受けた。 ・児童にはタブレット、保護者にはスマホ等を使ってアンケートを実施し、その中に安全教育に関わる項目を入れて、次年度以降の学校教育に生かせるようにした。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防 【交通安全担当】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・河北警察署、桃生地区交通指導隊と連携し、交通安全教室として、学校周辺道路を使っての歩行及び自転車通行訓練を実施し、交通安全に対する意識向上を図る指導ができた。 ・長期休業前や交通教室の事前指導、学校区パトロール出発前等、登下校時の交通安全に対する意識向上を目的とした指導を行った。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校区パトロールの際、児童見守りの職員の役割を輪番制とし、複数の目で通学路の安全確保、児童の歩行や自転車の乗り方の実態を確認し、適宜指導を行った。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・危険個所の周知のためにメール配信を行う必要はなかったが、日常から保護者へメール配信で連絡することも多く、保護者が配信メールを確認することが日常化している。 ・今年度はコロナ禍のため、交通安全教室は秋の1回のみだったが、学校周辺道路で安全に歩行したり、自転車に乗車したりできるように、警察署及び交通指導隊の方に交通安全指導を依頼した。 ・児童にはタブレット、保護者にはスマホ等を使って、アンケートを実施し、その中に交通安全に関わる項目を入れ、次年度以降の教育活動に生かせるようにした。

指標6：セーフティプロモーションスクール活動の改善（令和4年度）

宮城県石巻市立桃生小学校

分野	領域	課題への対応と改善
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防 【生徒指導主任】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・集会や朝の会等で、安全な遊び方や休み時間の過ごし方について、生活目標と関連させながら定期的に指導する。 ・学校管理下内でのけがが減少するように、発生原因を分析し、予防策を立て指導していく。 ・教職員の対応力が向上するような不審者対応訓練の想定を考え、計画的に実施していく。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全点検を継続し、修繕等の依頼を迅速に行う。（緊急改修が必要な場合は事務及び教頭に報告し、市教委に早急な対応を依頼する。） ・安全点検に加えて、朝の会の時間を活用し、児童の視点から危険個所がないかどうか、毎月確実に聞き取りを行う。 ・授業中の児童昇降口の施錠の確認を徹底し、担任以外の職員が校内及び校庭周辺の巡視を定期的に行う。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せで共有した生活指導上の問題点については、対応策を検討して対策を講じていく。 ・河北警察署と連携しての不審者対応訓練および、不審者対応の職員研修を実施する。 ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた上で、地域・及びPTAと連携や協力を図りながら、学校区パトロール等の指導を行っていく。 ・保護者アンケートの結果を踏まえながら、年間計画を策定していく。 ・災害時用の児童及び職員分の非常食について、定期的に個数や消費期限の確認を行う。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防 【防災主任】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間だけでなく、休み時間や清掃時間等、担任不在の時間でも、安全な避難行動ができるような災害対応の避難訓練を、計画的に実施していく。 ・職員会議の中で、学級活動で防災学習を行う学年に声掛けをし、実施を確実なものにする ・縦割り班活動を活用して縦のつながりをより密接にし、災害時にも適応できるように指導する。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水の災害規模に応じて、避難場所と本部の設置場所を定める訓練計画を立案する。 ・備蓄倉庫で保管している非常食は、6年生には卒業式直前、3年生には4年生に進級し、新しい非常食を購入後に配付する。

	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、感染予防対策を行った上で、警察署・消防署等との連携を深めていく。 ・児童及び保護者にアンケートを実施する際、質問項目を精査し、次年度以降の教育活動に生かせるようにする。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防 【交通安全担当】	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺道路を使用しての「春の交通安全教室」を河北警察署・桃生地区交通指導隊と連携して行い、「秋の交通安全教室」として、自動車学校に協力を依頼して実施する。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの地区巡視や学校区パトロール等で、通学路の状況把握及び登下校の見守りを継続して行っていく。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路や学校周辺道路の安全確認を定期的に行い、必要に応じて市教委や総合支所と連絡を取る。 ・通学路における危険個所を保護者に確実に周知するために紙面の通知を活用し、緊急性の高い場合にはメールを配信するなど、適切な手段を選択する。 ・警察署及び交通指導隊と連携し、学校周辺道路を使つての「春の交通教室」を実施する。 ・保護者アンケートの交通安全に係る項目を検討し、次年度以降の教育活動に生かせるようにする。

指標7：セーフティプロモーションスクール活動の共有（令和4年度）

宮城県石巻市立桃生小学校

分野	領域	成果の共有と協働
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防 【生徒指導主任】	安全教育	・職員会議での共有 ・集会等での児童への周知 ・学校だよりや保健だより、ホームページによる啓発 ・保健室前掲示板への掲示
	安全管理	・保護者アンケートの結果の報告 ・保健室前掲示板への掲示
	安全連携	・学校だよりや保健だよりによる啓発 ・河北警察署との連携
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防 【防災主任】	安全教育	・職員会議での協議 ・訓練を通じた児童への周知 ・学校だよりによる啓発
	安全管理	・学校だよりによる報告 ・保護者アンケートの結果の報告
	安全連携	・学校だよりによる啓発 ・市震災遺構や河北消防署との連携
交通安全 ・被害予防 ・加害予防 【交通安全担当】	安全教育	・職員会議での共有 ・学校だよりによる啓発
	安全管理	・学校便りによる報告 ・保護者アンケートの結果の報告
	安全連携	・河北消防署・桃生地区交通指導隊・市内自動車学校との連携

令和4年度 避難訓練及び引渡し訓練実施計画（地震）

1 ねらい

- 1) 地震から身を守ることの大切さについて理解し、スムーズな避難と保護者等への引渡しに必要な行動の仕方を身に付ける。
- 2) 地震の際の避難の課題や解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができるようにする。
- 3) 安全について関心をもち、積極的に取り組もうとする態度を養う。

2 道徳との関連

節度ある生活態度 生命の尊重 公德心 規則の尊重

3 日時

令和4年 6月 3日（金）5校時～放課後（13：45～15：30）

- ※ 雨天決行。ただし大雨などの場合は、地区内統一して判断する。
- ※ 雨天時は引渡しの流れを変更して実施する。

4 想定

午後1時45分、震度5強の地震が発生し、各教室で自分の身を守る行動をとった。揺れは収まったが、校舎内の安全が確認できないため、児童を校庭へ2次避難させた。児童が全員避難したことを確認した段階で、校舎内の安全確認を行い、校舎内は安全と判断した。この判断を受けて、児童を各教室へ移動させた。しかし、大きな余震が心配されるとの情報を得たため、午後2時30分に引渡しを決定し、メール配信により保護者へ連絡した。その後、児童昇降口前で児童の引渡しを開始した。

5 訓練事項

1) 事前指導

- 第一次避難（机の下に入る。その場でだんご虫の姿勢）
- 第二次避難（校庭に避難する）
- 第三次避難（引渡し訓練）
- 避難時の心構え
 - ・おはしもの原則（お：押さない、は：走らない、し：しゃべらない、も：もどらない）
 - ・上靴を履いたまま外に出る。
 - ・避難途中や避難場所での自由行動は、絶対に許されないことを知らせる。
 - ・玄関内で待つ時も「しゃべらない」で黙って待つことを指導する。

2) 当日の実施内容

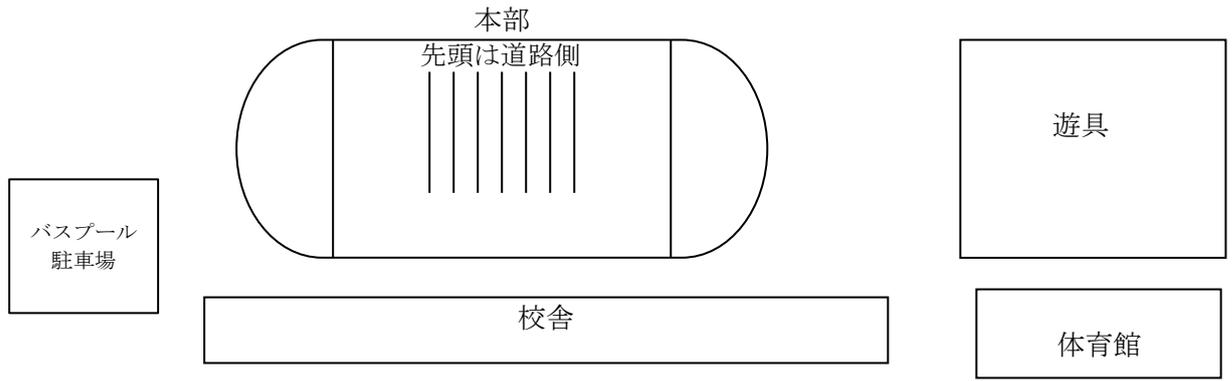
- 通報訓練
- 地震に対する避難訓練
- 引渡し訓練

3) 事後指導

- 訓練の反省等

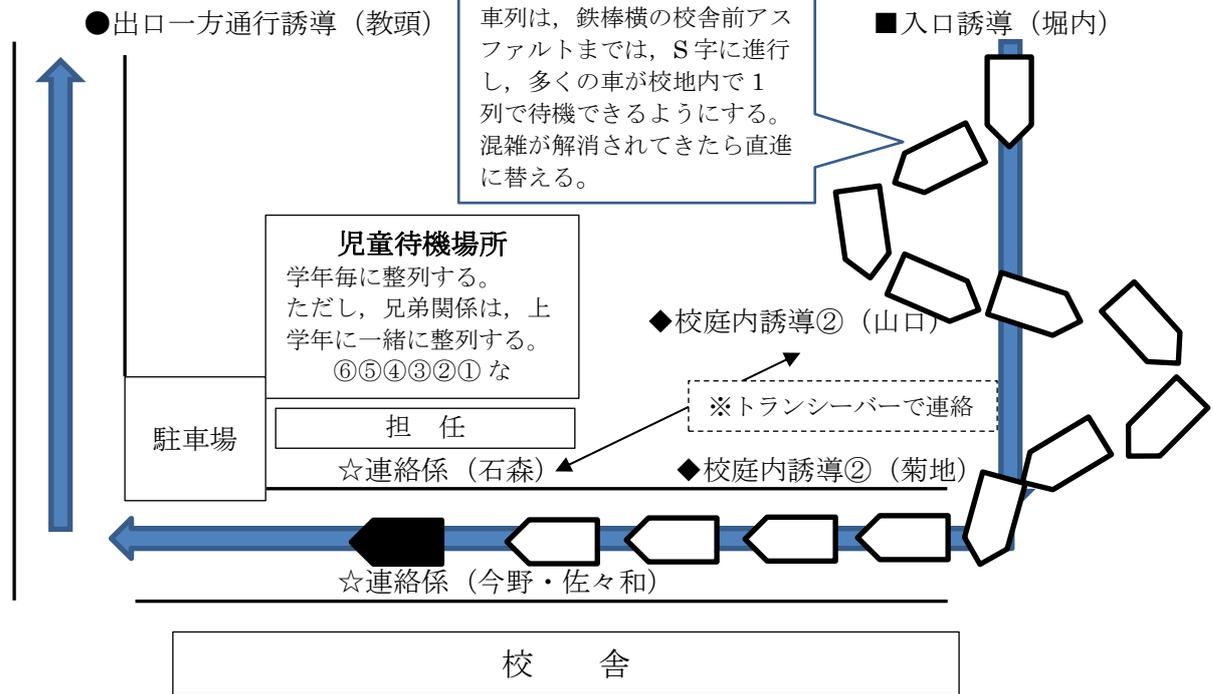
6 避難場所

- 1) 第1次避難（机の下）
- 2) 第2次避難（校庭中央付近） ※校庭の状態が良くない場合は、バスプール。
雨天の場合は、体育館
- 3) 第3次避難（校庭で引渡し） ※雨天時：児童は玄関で待機

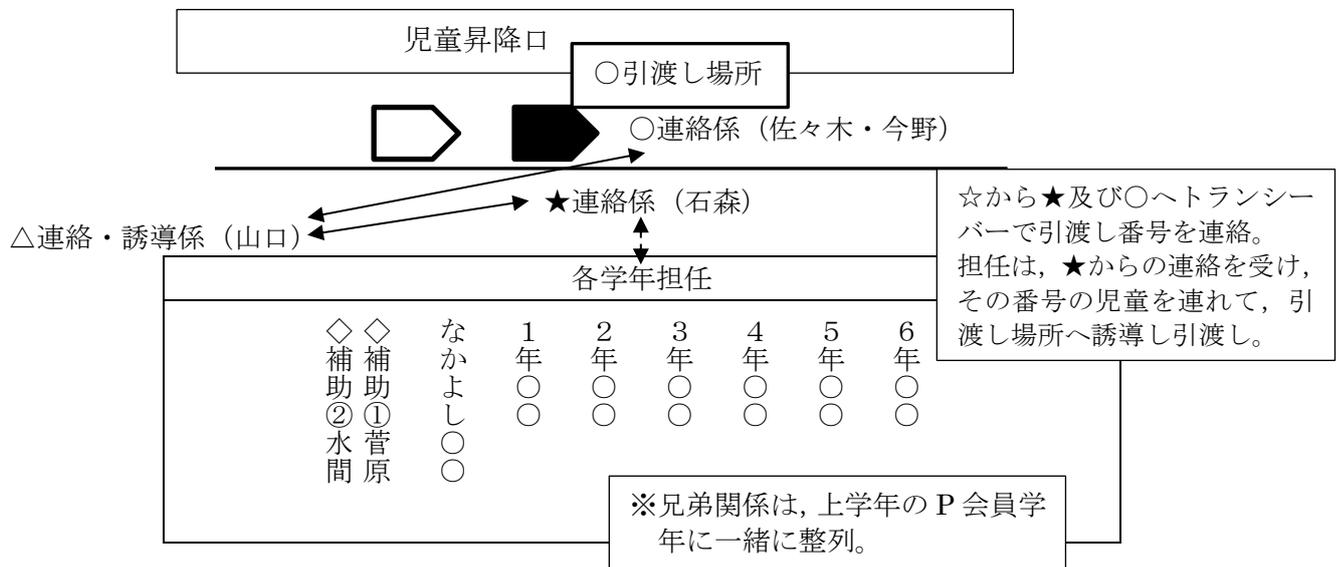


4) 第3次避難 (校庭で引渡し) の流れ図

※別紙資料参照 (保護者案内裏面)



○校庭 (校庭東側、児童昇降口前アスファルト下付近) での児童待機の仕方



職員・来客用玄関	児童用玄関 ◎児童引渡（担任） （兄弟関係は、上学年の担任と一緒に引渡し）	特別室
◎3・4年担任で児童管理及び引渡し 27～44 （3・4年PTA）	★連絡係（石森） ◇補助（菅原・水間）	◎1・2・なかよし担任で児童管理及び引渡し 45～57 （1・2年・なかよしPTA）
	◎5年担任が児童管理及び引渡し（外では、6年担任も引渡し） 1～26 （5・6年PTA）	

※ 兄弟関係は、上学年（PTA）の学年位置に、一緒に整列する。

7 活動時刻及び内容

13:45	13:48	13:51	14:00	14:10	14:15	14:20	14:30
地震発生 1次避難 校舎内	揺収束 2次避難 校庭	終了 講評 校庭	校舎内安 全確認 移動開始	教室待機 学級指導 教室	引渡連絡 帰り準備 教室	引渡場所 移動開始 準備完了	引渡開始 玄関前

8 避難訓練実施計画

時間	想定災害・職員室の動き	教職員の動き	児童の動き
13:45	1 地震発生の通報訓練 校内放送で全校へ通報、及び指示をする。（教頭）	「訓練地震、訓練地震、ただ今大きな地震が発生しています。先生の指示に従って速やかに机の下に避難しなさい。」 「今、地震が起きていますが、まもなくおさまるでしょう。慌てて外へ飛び出すのは危険です。落ち着いてその場に待機しなさい。」（教頭）	・席に着く。 ・放送を静かに聞く。 ・担任の指示で机の下に避難する。反射的に避難体勢がとれることを目標とする。 ・落ち着いて次の指示を待つ。
		○報状況及び避難体制を確実に聞き取り、以下の行動を起こす。 ・落下物や倒れる恐れのある戸棚等から身を守らせる。 ・ガラス窓から遠ざける。 ・口を閉じさせ、担任の話をよく聞くようにさせる。 ○児童の様子を注意深く見守る。 ・児童が机の下に避難したのを確認してから、机の下に避難する。（※担任は避難しないで児童の様子を見守る） ○児童を席に着かせ、職員室からの次の指示を待つ。	

13:46	2 1次避難解除の通報 2次避難準備 ・校内放送で全校へ通報、及び指示をする。(教頭)	「地震はおさまりましたが、大きな地震だったので、念のためヘルメットを準備しなさい。」(教頭)	○ヘルメットを準備させる。 ○児童を席に着かせ、静かに待たせる。 ○児童を席に着かせ、授業を再開する。	・静かに放送を聞く。 ・ヘルメットを準備する。
13:48	3 2次避難の通報	「先ほどの地震により、校舎倒壊の恐れがあります。担任の先生の指示に従って、慌てず、落ち着いて校庭の避難場所に避難しなさい。」(教頭)	○避難指示を出し、児童を安全に避難誘導する。	・指示に従って避難する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>★避難開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓を閉めてカーテンを開ける。 ・ヘルメットを着用させて速やかに避難させる。 ・児童の先頭になり、児童を安全に誘導する。 ・(1) 1階 (1年生・なかよし1・2組) ベランダから避難する。 ・(2) 2階 (2・3・4年) 西側非常階段を降り、校庭に避難する。 ・(3) 3階 (5・6年) 中央階段を降り、児童玄関から校庭に避難する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 「おはしも」の原則で速やかに避難する。 </div> </div>				
13:53 14:00	・校長と教務は全体整列の場所を決定、避難場所へ向かう。 (校長・教務) ・避難に要する時間を計り始める。 (校長) ・ラジオまたは、個人スマホ等で放送を受信する。 ※車のラジオ・テレビ等も活用する。 (教頭) ・各担任より、避難完了の報告を受ける。 (教頭) ※不明者がいる場合、校長の指示に従って行動する。 ・避難完了を校長に伝える。 (教頭)	○学年ごとに児童を整列させ、その場に腰を下ろさせて人数を確認する。(学担) ○人数確認後、直ちに教頭に報告する。 「○年生、○名全員避難しました。」	・ヘルメットを着用し、速やかに並ぶ。 ・「おはしも」を守り、避難する。 ・列を守りながら校庭は小走りして避難する。 ・学年ごとに整列する。 ・校長先生の話聞く。	
13:53 14:00	4 講評 (校長) 5 終了			

14:05	<p>※校舎内安全確認終了報告 (教務)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎内の安全を確認した後各教室へ児童を移動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室で事後指導を行う。 短時間でかまわない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な振り返りをする。
14:15	<p>6 引き渡し訓練 (教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内放送で全校へ連絡する。 教育委員会学校安全推進課へ連絡をする。(教頭) 半固定無線機の準備(校長) 	<p>訓練。今回の地震が大きかったため、今後大きな余震も考えられます。幸い、桃生小付近の道路・建物などには大きな被害はなく、安全が確認されました。みなさんの安全を第一に考え、これから、引渡しをはじめます。担任の先生の指示に従って2時25分までに児童玄関付近に移動してください。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割分担場所に移動し、必要な準備を行う。 ◎教頭・堀内・菊地 → △山口 → ☆石森 → ○佐々木・今野 → ◆担任 → □菅原・水間 → 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通誘導 ・交通誘導・引渡し番号連絡 ・引渡し連絡 ・引渡し確認・引渡し交通誘導 ・引渡し ・引渡し呼び出し補助 	
14:25	<ul style="list-style-type: none"> 引き渡しの指示(防災主任) 		
14:30	<p>7 引き渡し開始</p>	<p>※引き渡し訓練の流れは、保護者連絡文書裏面を参照。</p>	
15:30	<p>※ 全児童の引渡し終了。</p>		

9 職員の動き

職員	分担内容
学 担 (児童管理)	(第2次避難) 避難開始の放送が鳴った時点で児童を誘導。 1階の検索をしながら、避難する：なかよし1組担任(今野) 2階の検索をしながら、避難する：2年担任(佐藤) 3階の検索をしながら、避難する：6年担任(佐々和) ◎引渡し時：引渡し名簿で確認しながら引渡し。
校 長 (本部長)	(第2次避難) 半固定無線機持ち出し。避難放送後、校庭で待機→避難時間を計時。 (第3次避難) 安全に移動できたか確認。(避難場所責任者)
教 頭 (総務)	(第2次避難) 避難放送後、校庭で待機。ラジオで情報収集 (避難場所責任者) 非常災害時引渡し名簿、半固定無線機による教育委員会・学校安全推進課への連絡 (第3次避難) 児童の避難誘導。一方通行の誘導(出口)
教 務	(第2次避難) 避難放送後、校庭で待機。 非常用持ち出しセット、家庭環境調査票持ち出し。拡声器 (第3次避難) 引渡しの仕方説明。引渡し連絡
支援員	(第2次避難) 3年生の補助(菅原) 1階の補助【主になかよし2組】(日野) (第3次避難) 引渡し呼び出し補助(菅原・日野)
養護教諭 (救護)	(第2次避難) 避難放送後、1階の検索をしながら避難する。 (第3次避難) 児童の避難誘導。引渡し連絡
事 務 用務員	(第2次避難) 避難放送後、校庭で待機。(第3次避難) 一方通行誘導(入口) 引渡し時、校庭の車誘導

10 準備物

準備物	準備担当	当日の担当
ストップウォッチ(避難時間を計測)	教務	校長
本部の旗(校庭避難場所の目印) 救急箱など	養護教諭	養護教諭
非常災害時引渡し名簿(教頭前棚) 地震効果音(スマホデータで対応)	教頭	教頭
非常持ち出し袋 トランシーバー	教務	教務
上靴用の雑巾	各担任	各担任

11 その他

- ・子供へは訓練の期日、時間帯を知らせ、訓練の意義等について事前指導を行っておく。
- ・地震の際、放送で効果音を流す。
- ・セコムに連絡し、緊急作動システムを停止してもらう。(教頭)

※ セコム連絡先：電話 0225-95-9561

令和4年度 避難訓練実施計画（洪水想定）

1 ねらい

- 洪水から身を守ることの大切さについて理解し、スムーズな避難に必要な行動の仕方を身に付ける。
- 洪水の際の避難の課題や解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができるようにする。
- 安全について関心を持ち、積極的に取り組もうとする態度を養う。

2 道徳との関連

節度ある生活態度 生命の尊重 公德心 規則の尊重

3 日時

令和4年 9月28日（金） 13:10～13:35（清掃時）

4 想定

洪水 ・北上川上流地域で大雨が降っている。桃生地区でも大雨の状況に変化してきた。桃生地区全域が洪水になることが予想され、石巻市から避難指示が出された。そのため、全児童を2階に避難させる。さらに、予想される災害からの安全確保のため、校舎3階へ避難させる。

5 訓練事項

1) 事前指導

○第1次避難（マルチホール）、第2次避難（校舎3階）方法、避難場所・避難経路の確認

○洪水・土砂災害の危険について

○避難時の心構え

- ・おはしもの原則（お：押さない、は：走らない、し：しゃべらない、も：もどらない）
- ・風水害・土砂災害の危険性によって、避難場所等の指示が状況によって、変わることがあることを知らせておく。
- ・避難途中や避難場所での自由行動は、絶対に許されないことを知らせる。
 - ・避難途中や避難場所での自由行動は、絶対に許されないことを知らせる。

○浸水・土砂災害のない場所へ避難する。（安全に身を守るために集合し、指示を聞く）

- ・校内放送を聞き、マルチホールに朝会隊形で整列し、現在の状況を聞き、安全に身を守るための避難についての指示を聞く。
- ・清掃用具はその場に置き、移動する。
- ・高学年は、可能な限り、下学年に声掛けをしながら移動する。
 - ※指導、確認しておく。（清掃用具はその場に置き、移動する）
 - ※児童に、日時を知らせておく。
 - ※教師は自分の担任する教室以外の場所にいる。（特支は教室待機とする）

2) 当日の実施内容

○避難指示の放送

○風水害・洪水に対する避難訓練

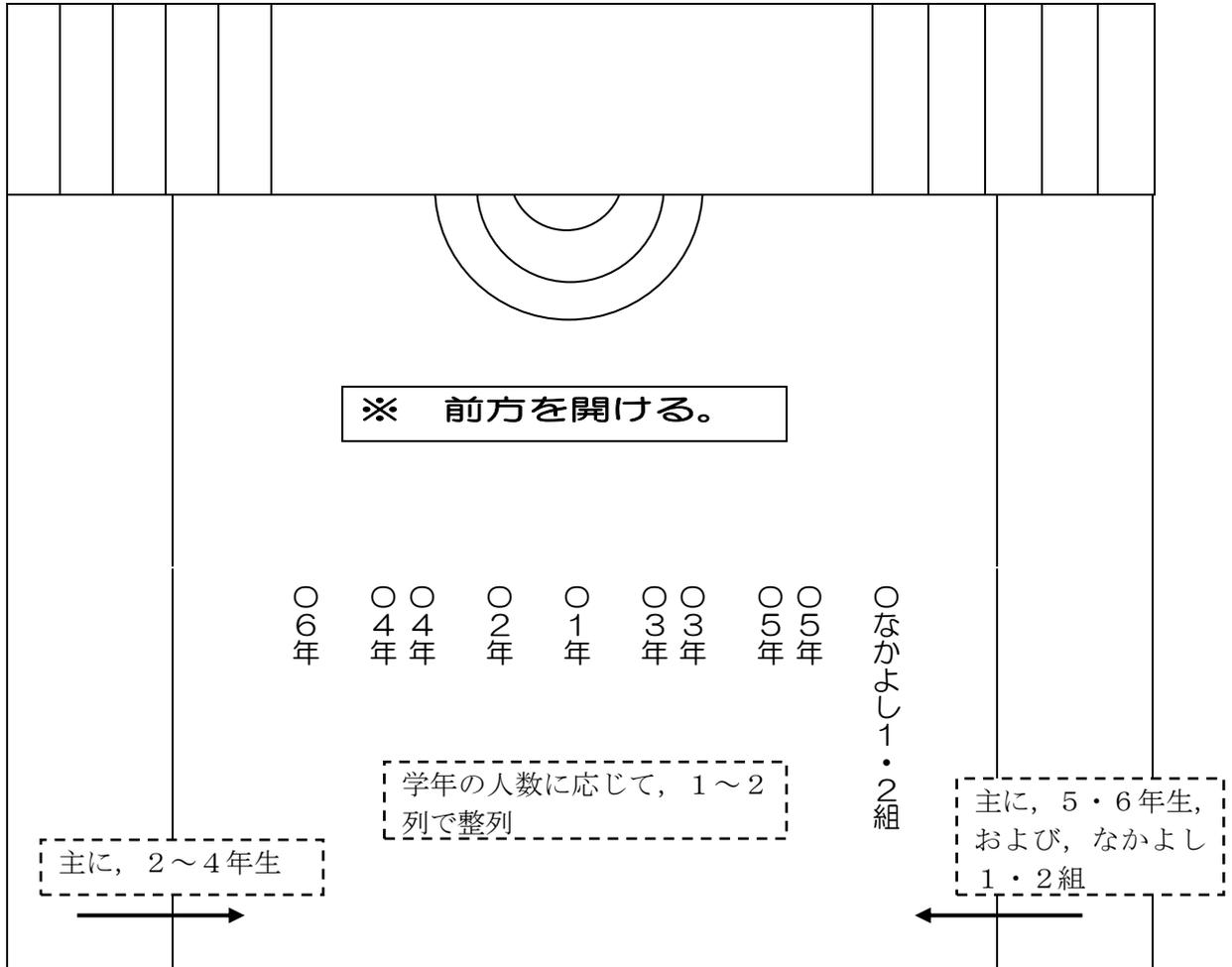
3) 事後指導

○訓練の反省等

6 避難場所

1) 第1次避難 (マルチホール)

- 各清掃分担区より、放送の指示により、マルチホールへ避難 (清掃用具はそのまま)
- 朝会隊形で整列
 - ※なかよし1・2組で列を作る
- 集合後、担任は人数を把握し、教頭へ報告
- マルチホール北側の裏山が崩れる恐れもあるので、前方を開けて、南側寄りで整列



2) 第2次避難 (校舎3階)

- 今後の浸水及び、学校裏山のがけ崩れの可能性を考え、全校で校舎3階へ避難 (中央階段を通り、4→3→2→なかよし→6→1→5年の順に、避難教室へ移動)



7 活動時刻及び内容

13:10	13:12	13:13	13:17	13:19	13:21	13:29	13:30	13:35
情報収集	市教委より避難指示	第1次避難放送→避難開始	第1次避難完了	状況確認	第2次避難指示→第2次避難開始	第2次避難完了	講評	解散
各清掃場所		2階マルチホール				3階避難教室		

8 避難訓練実施計画

時間	訓練内容・職員室の動き	教職員の動き	児童の動き
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <雨天想定>児童は各分担区の清掃活動をしている。 </div>		
13:10	1 テレビ、ラジオ、インターネットから情報を収集する。	○現在の状況を確認し、避難の必要性について検討する。	
13:12	2 石巻市より大雨による避難指示が出される。 ・校長は、洪水に対応するため、児童をマルチホールに避難させるよう教頭へ指示する。	○石巻市からの指示により、避難行動の体制を整える。	
13:13	3 職員室より全校へ避難の放送をする。 ・校内放送で全校へ放送、及び指示をする。 (教頭)		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「訓練放送。訓練放送。桃生地区全域が洪水になることが予想されるため、ただ今、石巻市より避難指示が出されました。児童のみなさんは、マルチホールに避難しなさい。」 (教頭) </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・校長と教頭は全体整列の場所を決定、第1次避難場所へ向かう。 (校長・教頭) ・避難に要する時間を計り始める。(校長) ・ラジオまたは、個人スマホ等で放送を受信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○状況及び避難場所を確実に聞き取り、児童に避難の指示をする。 ○清掃用具はその場に置き、静かに移動させる。 ※今すぐ危険な状況となっているのではなく、今後の安全を確保するための避難であることを伝え、落ち着いて避難するように声掛けする。 ○マルチホールへの移動時に、より多くの児童に声掛けしながら避難の声掛けをする。 ○児童の様子を注意深く見守る。 ○マルチホールに避難できた児童から、朝会隊形で整列させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃を中断し、放送を静かに聞く。 ・放送後、教職員の指示で、静かにマルチホールへ避難する。 ※放送を聞き取り、自主的に行動して構わない。 ※静かに移動する。 ※高学年は、下学年に声掛けしながら移動する。 ・落ち着いて次の指示を待つ。 【1階最終確認】青木 【2階西側最終確認】千葉 【3階最終確認】佐々木 <p>※整列は、通常の整列より、前方を開けて、できるだけ南側寄りで整列する。</p>
13:17	4 人員確認 ・ラジオまたは、個人スマホ等で情報を収集する。	<ul style="list-style-type: none"> ○担任は、人数確認をし、教頭に人数を報告する。(担任) ○各担任より、避難完了の報告を受ける。(教頭) ○教頭は、校長に人数を報告する。(教頭) 	
13:19	5 第1次避難完了	○防災主任より、第1次避難の完了と、現在の状況を確認し、それに対応するための訓練に移行することを児童に伝える。	・静かにその場に整列して待つ。

13:21	6 現在の状況確認	<p>○校長は、現在の状況を確認するため、校庭付近及び校舎裏の検索をするように指示を出す。 (校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭付近を職員室窓から確認 (佐々木) ・校舎裏を北側非常口付近から確認 (芳賀) 	
13:24	7 第2次避難の指示	<p>○校長は、報告を受け、予想される災害から安全を確保するため、校舎3階へ避難することを指示する。 (校長)</p>	
<p>「今、校庭と校舎裏山の様子を確認したところ、さらに洪水の被害が広がっています。また、校舎の裏山が崩れる恐れも出てきました。みなさんの安全を確保するため、これから、校舎の3階に避難します。説明される指示に従い、中央階段から、静かに避難し、次の指示を待ちましょう。」 (教頭)</p>			
13:29	8 第2次避難の完了	<p>○移動順、及び避難教室の説明をし、第2次避難を開始させる。(佐々木)</p> <p>○移動の全体指示(山口)</p> <p>○学年ごとに、避難教室へ移動の指示をする。 (各担任)</p> <p>○着席させ、児童の健康観察を行い、状況について教室間を周る教務に報告する。(各担任)</p> <p>○各教室を回り、人員、及び児童の体調の様子を確認する。(教頭) ※必要に応じて、養護教諭は、けがの手当てや体調不良の児童の支援をする。</p> <p>○教頭は、校長に人員及び、児童の様子を報告する。 (教頭)</p> <p>○教頭より、避難完了の報告を受ける。(校長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央階段を通り、4→3→2→なかよし→1→5→6年の順に、避難教室へ移動する。 ・完了後、次の指示を待つ。
13:30	4 講評 (校長)	<p>○児童を席に着かせ、児童の様子を見守りながら、次の指示を待つ。 (各担任)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放送での講評を聞く。
13:35	5 終了 ※校内放送で、訓練終了の連絡をする。 (教頭)	<p>○児童を席に着かせ、児童掃除用具の片付けや休み時間の過ごし方について指示をする。 (各担任)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放送の指示で、掃除用具の跡片付け→休み時間とする。

9 職員の動き

職員	分 担 内 容	
	第1次避難	第2次避難
担任 (児童管理)	○避難開始の放送があった時点で児童を誘導。 1階の検索をしながら、避難：青木 2階（西側）の検索をしながら、避難：千葉 3階の検索をしながら、避難：佐々木	○引渡し時は、引渡し名簿で確認しながら引渡し。
校長 (本部長)	○半固定無線機持ち出し ○避難放送後、マルチホールで待機→避難時間の計時 ○災害の状況を把握し、避難指示を出す。	○移動完了確認（避難場所責任者） ○対応が必要な児童への、養護教諭への指示
教頭 (総務)	○避難放送後、マルチホールで待機 ○ラジオで情報収集（避難場所責任者） ○非常災害時引渡し名簿の持ち出し ○半固定無線機による教育委員会・学校安全推進課への連絡	○児童の避難誘導確認 ○避難完了確認
教務	○体育館→1階の検索を行い、マルチホールへ移動 ○避難終了後、引渡し名簿の管理	○避難完了確認（各教室巡回）
防災主任	○担任として、児童の避難誘導を行う。 ○非常災害時引渡し名簿を受け取る。	○避難方法・避難教室の指示
支援員	○3または4年生の避難補助（2階支援員） ○1階児童の避難補助（1階支援員）	○引渡し呼び出し補助
養護教諭 (救護)	○避難放送後、本部の旗、救急箱を持ってマルチホールへ移動	○児童の避難誘導 ○体調不良・けがの児童の対応
事務	○非常用持ち出しセット、拡声器の持ち出し	○職員室待機（電話対応）
用務員	○校舎内異常の有無の確認	○校舎内異常の有無の確認

10 準備物

準備物	準備担当	当日の担当	備考
ストップウォッチ	教務	校長	・避難時間の計測
本部の旗	養護教諭		・第1次避難場所の目印
救急箱	養護教諭		
非常災害時引渡し名簿	教頭		・教頭前棚より
風雨台風効果音	防災主任	教頭	・CDで対応
非常持ち出し袋	事務		
トランシーバー	事務		

11 その他

- ・子供へは訓練の内容や方法を伝えておく。
- ・洪水は校舎近くまで迫る可能性があり、水が引くまでは、校地外には出られないこと。
- ・幼稚園児もパソコン室に避難してくること。
- ・地域住民も避難してくるかもしれないこと。
- ※ 今回は、密を避けるため、1学年1教室であるが、実際の災害では、避難教室が変わる可能性があることを伝えておく。
- ・風雨について、放送で音源を流す。

12 避難経路

【特別なことがない場合の避難経路】

- 1階・・・中央階段を通り、東側入口からマルチホールへ
- 2階・・・西側入口からマルチホールへ
- 3階・・・中央階段を通り、東側入口からマルチホールへ

原子力防災訓練実施計画

1 ねらい

児童が在校中に原子力発電所の事故による災害が発生した場合について

- ・原子力災害における避難の仕方を知り、実践する。
- ・児童が教師の指示に従って静かに速く行動ができるように訓練する。

2 指導計画

- (1) 日時 令和4年 10月31日(月) 8:15～8:30(8:00～地震発生)
 ※市から10月28日～1週間以内の日程で行うように設定されたので、桃生小でも行います。

(市の設定は15:00ですが、桃生小では業前活動で行います)

- (2) 想定 午前8時00分ごろ、宮城県沖を震源地とする大地震が発生し、外部電源の喪失や機器故障等により全面緊急事態に至り、炉心損傷により放射性物質が放出されたため、PAZ避難指示及びUPZ屋内退避指示が出されたことを想定する。

【注】PAZ＝即時避難区域(原発の周囲概ね半径5km圏内)

UPZ＝避難対象区域(原発の周囲概ね半径30km圏内:桃生地区含)

(3) 訓練要項

①事前指導(主に以下の内容を学年に応じて)

- ・原子力災害が発生した場合の行動について知らせる。
- ・避難行動(屋内退避の行動)の取り方について指導する。
- ・校内放送や担任の指示を静かに聞く習慣を身に付けさせる。

②事中

時刻	本部(主担当)	担 任	児 童
8:00	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模地震発生の放送をする。(教務) ○地震の揺れが収まった放送をする。(教務) ○各階の様子の検索をするように、指示を出す。(校長→出勤している職員) ○児童の安全が確認できたら、通常通りの外遊びや、教室で授業準備をして良いことを伝える放送をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤している職員は、一時避難の様子を見守る。 ・校長先生の指示で、職員で手分けして、児童の安全を確認する。 ・職員室に状況を報告する(職員→校長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・放送を聞いて、その場で一次避難の行動をとる。 ・先生方の指示に従って、その場で次の指示を待つ。 ・放送を聞いて、遊びに戻ったり、授業準備をしたりする。
8:14	<ul style="list-style-type: none"> ○石巻市災害対策本部より、原発災害に対する屋内退避の指示を受ける。(教頭→校長) 		
8:16	<ul style="list-style-type: none"> ○本部長(校長)の指示により、屋内退避する。 【役割による行動】 校長:本部長として全体への指示を行う。 教頭:校内放送で指示を出す。 養教:救急体制をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習を実施する準備を行う。間もなく避難訓練開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習

緊急放送。原子力災害により、屋内退避をします。先生方は、教室内の窓とカーテンを閉めてください。また、近くの特別教室の窓とカーテンも閉めてください。次の放送があるまで、そのままの状態です。

8 : 20	担任：児童を屋内退避させる。 事務：ネット等で情報を収集する。（必要があれば本部長に報告する。） 石森：玄関等、開いている場所を全て閉める。 校長：避難終了確認をする。 教頭→校長	・放送の指示に従い、児童を教室内に退避させる。その後速やかに、教室及び特別教室の窓とカーテンを閉める。 ・避難完了及び児童の安全について教頭に報告する。	・担任の指示に従い、教室内で退避する。 ・マスクを着ける。 ・担任の指示に従い、教室で静かに待つ。								
	報告方法（代表者報告） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>1年</td> <td>なかよし1・2組</td> <td>（石森 先生）</td> </tr> <tr> <td>2・3・4年</td> <td></td> <td>（堀内 先生）</td> </tr> <tr> <td>5・6年</td> <td></td> <td>（山口 先生）</td> </tr> </table>			1年	なかよし1・2組	（石森 先生）	2・3・4年		（堀内 先生）	5・6年	
1年	なかよし1・2組	（石森 先生）									
2・3・4年		（堀内 先生）									
5・6年		（山口 先生）									
8 : 30	校長：安全に避難完了した旨を石巻市災害対策本部と石巻市教育委員会へ報告し、次の指示を受ける。 ○訓練終了 教務：訓練終了の放送を行う。 ○全て終了	今後、保護者引渡し、石巻市の車（バス）による二次避難の対応を行う場合もある。 ・事後指導（振り返り）を行う。 ・全て終了									

③事後指導（各学級）

- ・訓練中の自分の行動、心理状態などを思い出し発表させる。
- ・分からなかったことや、不安に思ったことを発表させる。
- ・学年に応じて、原子力災害への対応について指導を行う。

(4) 学校での事前指導

- ・原子力発電所の事故の際の避難の仕方を知らせる。屋内退避の指示の場合
 「窓を閉める。」「換気扇を止める。」「食品にラップをして冷蔵庫に入れる。」
 「飲料水を密閉容器に確保する。」「外にいた人は顔と手を良く洗う。」
 「窓にはガムテープなどを貼り、外気が入らないようにする。」

(5) 係分担

- ・本部長（校長）
- ・避難指示放送（教頭） その他放送（教務）
- ・救護（養護教諭） マスクの確認
- ・情報の収集（事務）
- ・各階の見回り・戸締り確認（1F 石森・用務員 2F 堀内 3F 山口）

3 実施上の留意点

- (1) 児童に訓練期日を予告しておく。
- (2) 教師は、児童の発表などから訓練の様子を把握するとともに、自身がとまどったことや疑問に思ったことなどの問題点を明らかにする。
- (3) 事前の指導では、放送をよく聞いて行動し、混乱状態にならないように指導する。
- (4) 別紙資料「第Ⅱ章－4 原発事故発生時の対応」を参照の上、訓練に参加する。

避難訓練実施計画（火災）

1 ねらい

- 火災から身を守ることについてその意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付ける。
- 火災の際の避難行動についての課題や解決策について考え，他者と協力して，適切に判断し行動することができるようにする。
- 災害安全に関心を持ち，積極的に取り組もうとする態度を養う。

2 日時

令和4年11月11日（金）2校時 9：35～10：20（行事1）

3 想定

3階理科室より出火。初期消火を実施するが、火の回りが早く延焼の恐れがある。

4 訓練事項

（1）事前指導

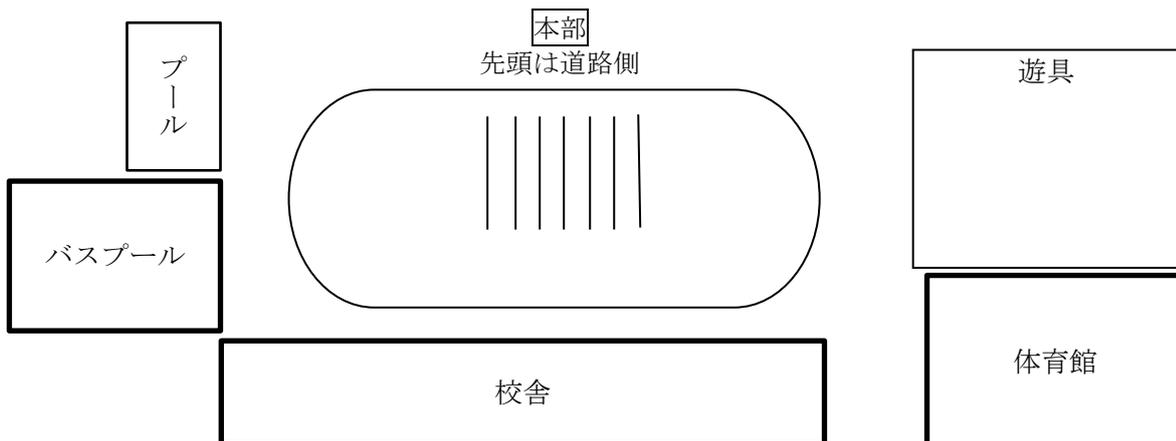
- 避難場所・避難経路（出火場所によって避難経路が変更することも含めて指導する）
 - 避難行動の際の留意点（ハンカチを持ち、上靴を履いたまま外に出ること）
 - 避難隊形
 - 火災の危険性
 - 避難時の心構え
 - ・ おはしもの原則（お：押さない、は：走らない、し：しゃべらない、も：もどらない）
- ※ 予想気温によっては、防寒着をあらかじめ着用させておく。

（2）当日の主な実施内容

- 火災想定での避難訓練・・・・・・・・・・・・・・・・ 前半15分
- 避難訓練の振り返りと初期消火訓練・・・・・・・・ 後半30分

5 避難場所

- 校庭中央付近（校庭の状態が良くない場合は、バスプール）



6 避難訓練実施要項

時間	想定災害・職員室の動き	教職員の動き	児童の動き
<p>9:40</p> <p>9:41</p> <p>9:43</p>	<p>1 火災発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年1組の授業（理科室）で使用中的カセットコンロから出火。 <p>2 初期消火の指示</p> <p>【教頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「訓練火災発生」の声を確認後、火災報知機（総合防災盤）で火災場所を確認して事務職員に消防署への通報を指示する。また、用務員に初期消火、出火場所と延焼等の確認を教務に指示する。 <p>【用務員・教務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員室廊下にある消火器を持って理科室出入口に駆け寄り、初期消火を試みる。（15秒くらい）初期消火での鎮火は無理と判断する。用務員避難する。 <p>【教務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出火場所と延焼状況等を教頭に報告する。 <p>【校長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出火場所と延焼状況等、教頭から報告を受け、避難を指示する。 <p>3 避難の通報</p> <p>【教頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期消火では鎮火が無理である報告を受け、校長に報告する。訓練火災発生を知らせ、校庭への避難誘導開始を放送で指示する。 <p>【校長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭への避難を指示した後、本部を校庭に設置する。 <p>【教務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難に要する時間を計り始める。（ストップウォッチ使用） 	<p>火災発生</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>≪ 6年担任 ≫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業（理科室）で使用中的実験用ガスコンロから出火し、燃え広がる状況が予想されるため、避難準備を指示する。 ② 周辺の教室及び職員室に聞こえるように大きな声で「理科室から訓練火災発生」と3回叫び、<u>非常ベル</u>を押す。 ③ 6年1組児童を誘導して校庭に避難させる。（5年生がまだ避難していない場合は、避難の声掛けをする。） <p>≪ 5年担任 ≫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6年担任の声を確認後、5年児童を誘導して校庭に避難させる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>緊急全校放送</p> <p>「3階理科室で火事。3階理科室で火事。燃え広がる恐れがあります。担任の先生の話聞き、マスクの上からハンカチで口を押えて、校庭に避難しなさい。」</p> <p>（教頭）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難の指示を出し、児童を安全に避難場所まで誘導する。 ○ 児童が安心して避難できるよう、適宜声掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火元から離れる。 ・静かに担任の指示を聞く。 ・6年児童は、担任の指示に従い、ハンカチで口を覆い避難を開始する。 <p>※気温が低い場合は、予め、ジャンパー等を着させて訓練に備え、参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示に従って、ハンカチで口を覆い避難を開始する。

【避難の仕方】

担任は、窓を閉め、カーテンを開ける。

- ・児童を静かにさせ、ハンカチで口を覆わせて速やかに教室に並ばせ、避難経路で外に出させる。
- ・児童の列の先頭で、児童の安全確保に努める。
 - (1) 1階(1年生・なかよし1・2組)
外ベランダから避難させ、校庭へ誘導する。
 - (2) 2階(4年生・3年生)
西側非常階段から避難させ、校庭へ誘導する。
 - (3) 2階(2年生)3階(5年生・6年生)
廊下を通り中央階段を降り、校庭へ誘導する。
「おはしも」の原則で速やかに避難する。

※ 2年生については、煙などの状況を判断して、より安全な避難経路を選択する。

9:46

【教務】

- ・校庭の全体整列場所を確認し、整列の指示を担当へ出す。

【教頭】

- ・各担任より、避難完了の報告を受ける。(不明者がいれば、不明人数、
- ※不明者、けが人がいた場合、校長の指示を受ける。
- ・各担任から人数の連絡を受けた後、校長へ報告する。

【校長】

- ・教頭より避難状況の報告を受ける。状況によっては、けが人の対応等の指示をする。

- 学年ごとに児童を整列させ、その場に腰を下ろさせて人数を確認する。(学担)

- 人数確認後、直ちに教頭へ連絡する。
「〇年生、〇名**全員**避難しました。欠席〇名です。」
- ※不明者・けが人がいた場合は、合わせて報告をする。

- ・担任の指示に従って整列し、その場に腰を下ろして静かに待機する。

9:49

4 避難完了

9:50

5 全体会(30分間)

司会：防災主任

10:00

10:10

10:15

10:18

消防の方から、全体訓練の④⑤について、ご指導いただく。
④・・・避難の様子をご覧いただいたの、講評と具体的な改善策
⑤・・・初期消火の具体的な方法(示範の後、代表職員と児童に指導いただく。

- ① 開会
- ② 校長先生のお話
- ③ 消防署職員の方の紹介(教頭)
- ④ 講評(含 防火講話)(桃生出張所職員の方)
- ⑤ 初期消火訓練(職員2人、6年児童3人)
- ⑥ お礼の言葉(6年児童)
- ⑦ 閉会・解散

【雨天の場合】避難場所は、体育館とする。初期消火訓練は実施せず、全体会の後、教室で事後指導を行う。
(1・5・6年生、なかよし1・2組は、1階廊下を通過して、体育館へ避難する)

--	--	--	--

7 職員の動き

職員	分担内容
学 担 (検索)	○避難開始の放送があった時点で児童を誘導 1階の検索をしながら、避難：教務主任 2階の検索をしながら、避難：3年担任 トイレ付近も含めて 3階の検索をしながら、避難：6年担任
校 長 (本部長)	○本部対応
教 頭 (総務)	○避難放送後、校庭で待機（本部） ○非常災害時引渡し名簿持ち出し。 (第3次避難) 最後尾で怪我をしている児童の救護をしながら避難誘導。
教 務	○初期消火 出火場所 ○避難時間の記録（計時） ○校庭で待機（本部） ○非常用持ち出しセット、拡声器持ち出し
支援員	○なかよし学級の補助（1階支援員） ○2年生児童の補助（2階支援員）
養護教諭 (救護)	○避難放送後、校庭で待機 ○児童の健康観察
事 務	○119番通報 ○避難放送後、校庭で待機（本部）
用務員	○初期消火 ○その後避難

8 係分担

係	内容	担当者
連 絡	各機関への連絡（河北消防署桃生出張所、セコム等）	教頭
児童の避難状況確認	各階の児童の避難確認（残留児童） 1階→山口 2階→上原 3階→佐々木	教務主任 3年担任 6年担任
非常持ち出し	非常災害時引渡し名簿 非常持ち出し袋 拡声器	教頭 教務
救 護	負傷者の救護 本部の旗（校庭避難場所の目印）	養教
児童管理	避難後の児童管理	各学級担任
避難時間の記録	避難時間の記録	教務
進 行	当日の進行	教務
雑巾数枚	上靴を拭くための雑巾	各担任
物品管理	重要物品の管理	事務

○ 関係機関連絡先

河北消防署桃生出張所：電話 0225-76-2356
 セコム石巻営業所：電話 0225-95-9561
 共栄防災：電話 022-725-5381

避難訓練時、通報電話マニュアル

- ① 119番に電話する。
- ② 「訓練火災発生」と伝える。
- ③ 出火状況の確認
→「理科室で使用中の卓上ガスコンロから出火し、燃え広がる状況が予想されます。」
- ④ 住 所：石巻市桃生町檜崎字高附5番地
- ⑤ 施設名：桃生小学校 電話番号：0225-76-2242
- ⑥ けが人、逃げ遅れの有無の確認 → 現在、避難中です。